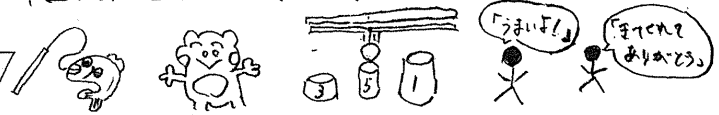
右けやぐ

2025.12.9
自主学童保育ささのはクラブ

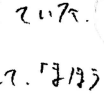
《風の子まつり》

12/7(日)、こども文化センターにて、開催された、こどものためのおまつり。12月とは思えないくらいあたたかい中、こどもたちは、ゲーム屋、カレー屋さんの2つから、希望する方を担当しました。

ゲーム屋



最大の準備は、ゲームの景品となる「スライム作り」、これを毎年つくるのが楽しみな人がとても多いです。今年は、学級閉鎖のために朝からきていた○○くん○○れ○○さん、○○くん、○○さんからつくりました。水とせんたくのり、そして、「まほうのくすり」を混ぜていくと、できてきます。「うわー」「ベタベタする」「やめろ!くっつけるな!」とうれしそうな悲鳴…?? 学校から帰ってきた人たちもかわり、210個が完成。「もらっていい?」「売りものだから、もれなないでしょ」「オレら、つくったからいいでしょ!権利あるよ」スライムの魅力は一体どこからくるんでしょうね。とても不思議です。



当日は、「さかなつり」「コロコロポンプ」「カエルとばし」の3コーナー、そして、受付・計算の役割にわかれて、お客さんに接します。「点数を多くとったらスライム、アメがもらえます。」と丁寧な説明、「そこのお兄さんやっていかない」とメガホンでよびこむ○○くん、二人の上下へよびこみにいってお客をつれてきた○○くんなど、プロのようでした。各コーナーでは、「うまいよ」「最高得点すごい!」という声かけや、つれた魚をおわんに入れてあげたり、カエルとばしのせんたくばさみの所を一緒に押さえてあげたり、みんなとてもやさしく接客。OGの○○れ(○○さんのお姉さん)もかわってくれ、年上の姿を見ながら、年下の人たちはお客さんへの接し方を実践から学んでいき、ゲームは151回分の人が参加。スライムも完売しました!

カレー屋

とにかく事前の準備が力ギ。玉ねぎの皮むき。1、2年生1人10個!! 学校から帰ってくると、テーブルの上には玉ねぎ、人参、ジャガイモの山、山、山、300食分の食材です。皮をむきはじめると、「おわらない、まだ3個目」という声、一方で、「オレ、何個でもいける!」「皮むき職人だから」「まけるか」と皮むきレースが始まりました。こどもたち、何でも遊びにして楽しんでますねーでアね。10数人でとりくみ、終了。冷蔵庫に入りきらないほどの野菜です。当日は朝8:30〜から3年生以上が一斉に野菜を切りはじめ、9:00頃に切り終わりました。保護者の方たちが、ご飯を炊き、カレーを煮込んでくれて10:15への開店に間にあいました!!

こどもたちは横1列に並び、フレンズ券を受けとる人、ごはんを盛りつける人、カレーのルーをかける人、福神漬をのせる人、スプーンを渡す人と役割分担がハッキリしていて、チームワークもバッチリ、スプーンを指の間にはさむ離れ技をする○○さんの姿、よびこみの声をかけ、2回以上買ってくれた方には指手と歓声をみんなでおくり、さらにリピーターをつくるなど完売をめざす、すばらしいアイデア、工夫、そして350食が完売し、他の食べ物屋さんを含め、一番の売り上げだったのことでした!!

準備段階、当日と、イベント係さんを中心にたくさんの保護者の方たちのご協力、ありがとうございました。こどもたちのお店以外の全体のお手伝いも本当にお疲れ様でした。こどもたちが協力しあう大人の集団に触れられたこと、お店を自分たちでやれる機会がもてたこと、大切な経験だと思いました!!

《保護者懇談会のお知らせ》

12/13(土)18:30〜 野川老人いこいの家

来年度の役員、係決めの説明があります。変更点もあるので、ぜひ聞いて下さいネ

今年最後の懇談会になります。内容はお楽しみ会の振り返り、冬休み以降の予定などです。ぜひ、皆さんでつくりあいましょう。

(裏面に続きます)

《スイートポテトづくり 10/3(水)》

10/30(月)の焼きイモから1日がたちました。みんなで掘ったイモを大切に保管してきて、お楽しみ会も終わり、みんなが待ちに待ったスイートポテトづくり。学校から帰ってくると「今日スイートポテトつくるんでしょ！」との声が何人からも聞かれました。6グループにわかれて、席について、たんたんが、手順を確認。すると話を聞いていない人たちの姿も。「聞いてないとできないよ」「大丈夫わかるから～」「じゃあ、今、話したこと説明してみて」「説明できるよ、○○でしょ(笑)」「聞いてないじゃん(笑)」「話は聞こうね…」というシーンもありますが、しっかり早くやりたいのは伝わってきます。つくりはじめると、砂糖と卵をまぜる時に、人と手をたちたやさしく、「やった？」と声かけする高学年のこどもたち。卵をわって黄身と白身にわける作業をドキドキしながら挑戦し、はじめてできてうれしそうな　　さんと　　さんは「できた！」とニッコリ。　　くんは、ふかしたイモをまぜ終えると、オーブンで焼く前に、待ちきれずに食べそうになり、「まだだよ、焼いてから」と声をかけられたり。たんたんからグループごとに「9人分にわけてね」と説明があると、「Yにしたらいいね」「何で？」それをさらに3つにわけると1/3になることを話すと、「　　すごい！」と感心し、まわりのグループにも伝えたり。ボールにのこっているイモをムダにしないようにゴムべらでキレイにとって、ボールをピカピカにする　　さん。今まで重ねてきた経験をいかして、形を整え完成　　さんと　　さんに焼いてもらって出来あがりました。「いただきます」の声と共に「うメ～」「おいしい」とあちこちから歓声が聞こえてきます。使いきれなかったイモはたんたんと、　　さん、　　さんが大学イモにしてくれました。どちらもおいしかったね！　週末もお楽しみに

焼イモ、スイートポテト、大学イモにも使ったけれど、まだ残っているサツマイモ。
何に使おっかな～？　また何か、おやつに変身させるつもりです。
何がいいかな～？♪